

リベルサスのご案内



リベルサスは「GLP-1」というホルモンに似た作用をもつ経口薬です

GLP-1

GLP-1は、もともと私たちのからだにあるホルモンで食事が小腸を通過することで分泌されます。血糖値が高いときに、すい臓からインスリンを出すよう働きかけます。

リベルサス

リベルサスはGLP-1と似た作用を持ち、血糖値が高いときにすい臓からインスリンを出すようはたらきかけ、血糖値を下げます。また、食べ物をゆっくりと消化し少量の食事でも満腹感を感じやすくなります。リベルサスの効果を発揮するためには、服用前後に胃の中を空っぽにしておくことが大切です。

リベルサスの効果を発揮させるためには正しい用法と保管が大切です

◆リベルサスの服用方法

- ①空腹時（1日の最初の飲食の前）に服用してください。起床時か夜間トイレで目覚めた時が飲みやすいと思います。
- ②1錠をコップ約半分の水（約120mL以下）とともに服用してください。
- ③服用後に、飲み物を飲んだり、食事をしたり、他のお薬を服用する場合は、少なくとも服用後30分経ってからにしてください。服用後の絶食時間が薬の吸収時間です。絶食時間を長くすると効果が増します。詳しくは医師と相談してください。

◆服用時の注意点

- ①リベルサスは湿気と光の影響を受けやすいお薬です。服用の直前に錠剤シートから取り出してください。
- ②錠剤を割ったり、砕いたり、噛んだりせずに、丸ごと飲み込んでください。
- ③お茶、コーヒー、あるいは服薬ゼリーなどでの服用はせず、約120mL以下の水で服用してください。

リベルサスの効果を感じづらいときは、
服用方法や注意点をもう一度チェック!



リベルサスの主な副作用

消化器 症状

胃の不快感、便秘、下痢などの消化器症状が起こることがあります。

- ・症状が長く続く場合には主治医に相談してください
- ・嘔吐を伴う持続的な激しい腹痛が起こった時は、直ちに服用をやめて、速やかに主治医の診断を受けてください。

低血糖

低血糖症状が起こることがあります。他の糖尿病薬（SU薬やインスリン製剤など）を使用している場合は特に注意が必要です

- ・低血糖症状にそなえて、砂糖やブドウ糖の入った食べ物や飲み物を携帯しましょう
- ・低血糖症状があらわれた場合は、それらを摂取しましょう。